



# まとめ1

## 西洋美術史ゼミ

第二回～第十二回

内容のまとめ

発表者 あまずん

# 発表者について

あまずん

Twitter : @quii\_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

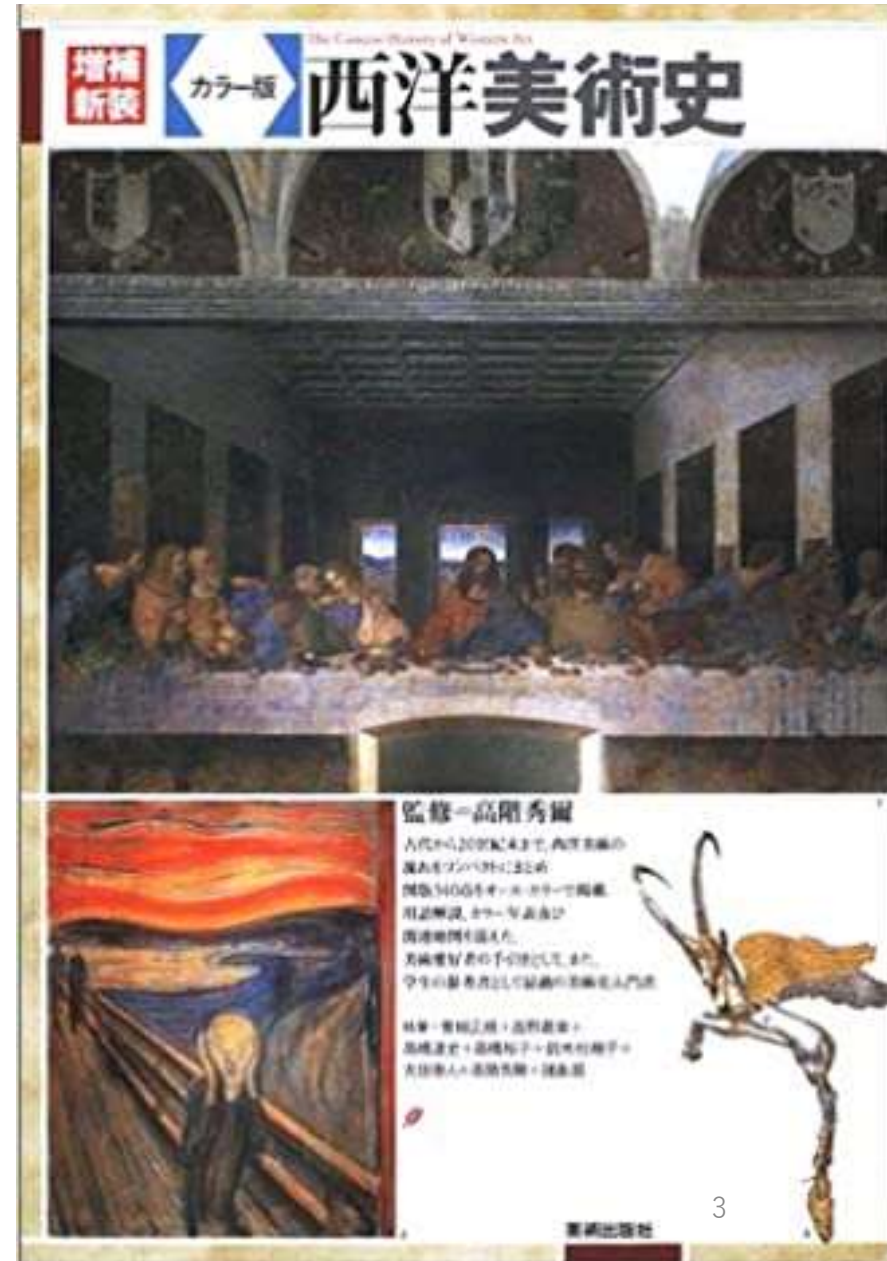
理系の大学生 (数学専攻) をやっています。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について  
興味があります。



## ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



# はじめに

- このスライドは第二回～第十二回の「本日のまとめ」をまとめたものです。
- 知識が増えるにつれ混乱してきたため自分用に作りましたが、聴講者の方にも有用だと思うので共有します。
- 「まとめ2」はおそらく完走した後になります。もし忘れていたら教えてください。

## 第2回：原始美術と古代オリエント美術

- 紀元前3000年ごろに**四大文明**が成立しました。メソポタミア・エジプト文明はともに実用性を重んじました。

- **原始美術**

洞窟絵画など。**呪術的**な要素が強い。

- **古代メソポタミア美術**

**支配者階級**の美術で、彩色土器や浮彫などが作られた。

- **エジプト美術**

時代に応じて**理想主義**、**写実主義**、**色彩主義**が生まれる。その後一神教の**アマルナ美術**が誕生した。



Roland Unger - 投稿者自身による著作物, CC 表示-継承 3.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=48168958>による

ツタンカーメンのマスク

## 第3回:ギリシア美術(歴史)

- 古代ギリシアでは前8世紀頃に**スパルタ**や**アテネ**などの**ポリス** (都市国家) が生まれました。
- アテネでは民主制が発展し繁栄しましたが、それに反感を持ったスパルタが戦争を起こし、その結果ポリス全体が衰退しました。
- 戦争後に北方のマケドニアが発展し、**アレクサンドロス大王**がギリシアを支配しました。これを**ヘレニズム期**と呼びます。



アレクサンドロス大王

## 第3回：ギリシア美術（美術）

- まず**幾何学的図形**を用いた幾何学様式が生まれました。男性裸体像**クーロス**もこの時代のものです。
- その後**アルカイック美術**が展開し、**アルカイックスマイル**や**黒像式**、**赤像式**が生まれました。
- その後の**クラシック時代**はギリシア美術の黄金期で、**コントラポスト**が発明され、また**パルテノン神殿**が作られました。
- **ヘレニズム期**では**美術の大衆化**が起こり、『**ラオコーン像**』などが作られた後に**古典復興**が起こり、『**ミロのヴィーナス**』などが作られました。

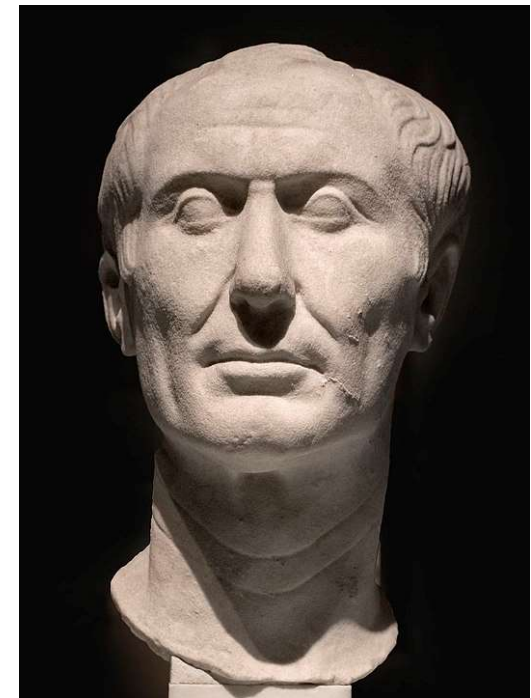


Livioandronico2013 - 投稿者自身による著作物, CC 表示-継承 4.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=54858474>  
による

ミロのヴィーナス

## 第4回：エトルリア美術とローマ美術・初期キリスト教美術（歴史）

- 先住民である**エトルリア人**を追放した後、**ローマ**では貴族が実権を握る**貴族共和制**が行われていましたが、平民による**身分闘争**が起こり貴族と平民の権利は等しくなりました。
- その後**ポエニ戦争**でカルタゴと戦い、勝利はしたものの政治が不安定になりました。これをカエサルの養子オクタウィアヌスが収め、**帝政**が始まりました。
- それから400年ほど経ちローマ帝国は**東ローマ（ビザンツ）帝国**と**西ローマ帝国**（以後のフランク王国）に分裂しました。



ガイウス・ユリウス・カエサル



## 第4回：エトルリア美術とローマ美術・初期キリスト教美術（美術）

- **エトルリア美術**はダイナミックであることが特徴で、**ウルカ**という美術家が居ました。
- **ローマ美術**はギリシアの模倣から始まり、**バシリカ**（多目的公会堂）や**円形闘技場**などの建築が主に発展しました。
- **初期キリスト教美術**はカタコンベ等の**葬礼美術**から始まり、帝国に公認された後は**教会堂**の建築が盛んになりました。



Jean-Pol GRANDMONT - 投稿者自身による著作物, CC 表示-継承 3.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=18904613>  
による

コロッセウム

# 第5回：中世：ビザンティン美術・初期中世美術（歴史）

- ローマ帝政末期に**ゲルマン人が大移動**を開始した。
- **ビザンツ帝国**では6世紀の**ユスティニアヌス大帝**の時代に最盛期を迎え、7世紀に**イコノクラスム**が起こった後に衰退。その後マケドニア朝で一時復興したものの滅亡しました。
- ゲルマン人であるフランク人が建国した**フランク王国**は、481年～の**メロヴィング朝**と、751年の**カロリング朝**の時代に繁栄しました。



イコノクラスムにより破壊されたイコン

# 第5回：中世：ビザンティン美術・初期中世美術（美術）

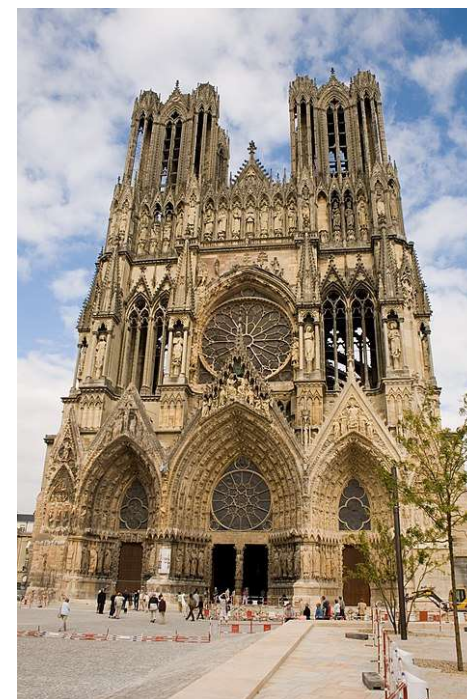
- **ビザンティン美術**では、第一次黄金期においては**円蓋式バシリカ**が生まれたり、**イコン**が発展したりした。**イコノクラスム**後の第二次黄金期では、**ヘレニズム期の古典的伝統**に立ち返った。
- **初期中世美術**では、メロヴィング朝においては**貴金属工芸**や**写本**が多く制作された。カロリング朝においては**カロリング＝ルネサンス**によって土着文化、キリスト教文化、古典主義の三者が融合した文化が開いた。



ビザンティン美術のモザイク画

# 第6回：中世II：ロマネスク美術とゴシック美術

- **封建社会**が成立し、**十字軍**が起こった。その後**貨幣経済**が発展し、イギリスとフランス間で**百年戦争**が起こり、その合間に**ペスト**が流行した。
- ロマネスク美術は封建制を背景に修道院を中心に繰り広げられた。建築は**石壁**と**暗い内部空間**が特徴で、建築装飾として彫刻が用いられた。また**聖遺物容器**として工芸が発展した。
- ゴシック美術は対照的に**人間的で写実的**なもので、建築は大きくなり、彫刻は建築から独立した。また、写本や工芸は**専門化**された。



Ludovic Péron - 投稿者自身による著作物, CC 表示-継承 3.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=2761470>による

ノートルダム（ランス）大聖堂

## 第7回：イタリア初期ルネサンス美術

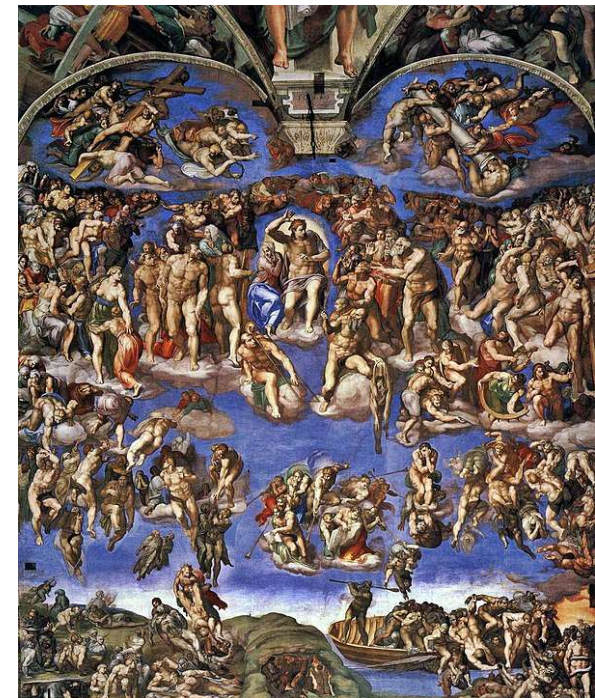
- **大航海時代**が起こり**近世**が始まった。スペインとポルトガルが**海外進出**するなか、イタリアでは**ルネサンス**が起こっていた。
- イタリアでは、古代ギリシア・ローマの古典復興運動であるルネサンスが起こった。**ジョット**から始まり、**ブルネッレスキ**、**アルベルティ**、**マザッチョ**、**フラ＝アンジェリコ**、**ボッティチェリ**など建築、彫刻、絵画で**古典主義**・**自然主義的**な風潮が高まった。



ボッティチェリ 《春（プリマヴェーラ）》

# 第8回：イタリア盛期ルネサンス美術・15世紀の北方美術

- 1490～1520の盛期ルネサンス美術では**レオナルド・ダ・ヴィンチ**や**ミケランジェロ**、**ラファエロ**、**ヴェネツィア派**が活躍し、その死後に新たな美術潮流である**マニエリスム**が興った。
- 北方では油彩技法が急速に発展し、**ヤン・ファン・エイク**や**カンピン**、**ロヒール**などの画家が活躍した。



ミケランジェロ 《最後の審判》

## 第9回：北方ルネサンス美術

- 16世紀のネーデルラント美術では、アントワープを中心としてマサイス、ボス、ブリュゲルが活動した。
- ルターやカルヴァンによって宗教改革が起こり、主権国家の形成を促進した。
- ドイツではデューラーによりルネサンスが興り、絵画と版画が盛んに制作された。



ブリュゲル 《バベルの塔》

# 第10回：バロック美術

- 宗教的な普遍的権力が動揺し、経済的・軍事的な重要性から**主権国家が形成**され始めた。
- そのような状況下で新教と旧教の対立による**三十年戦争**が始まり、次第に大規模な戦争に発展していった。
- **カラヴァッジョ**の登場により、劇的で動的な**バロック美術**の扉が開いた。

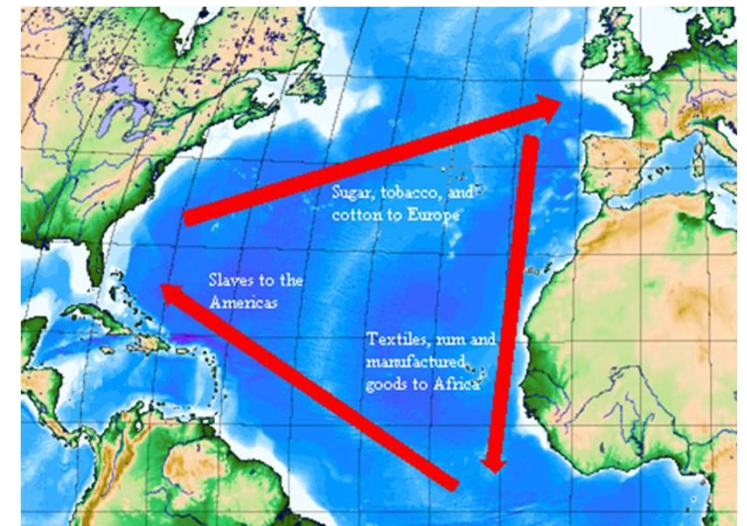


カラヴァッジョ 《聖マタイの召命》



# 第11回：バロック美術・ロココ美術（事前）

- 三十年戦争が終わったあと、複数の主権国家が互いに国府の増大を目指して**重商主義政策**をとり、植民地をめぐってヨーロッパ内外で争いを繰り返した。
- そして、18世紀のヨーロッパでは海外との繋がりがより緊密になり、その過程で**近代化**も進んだ。この過程で、上から君主主導の改革をおこなう啓蒙専制君主が出現した。
- **三角貿易**が栄え、アメリカ・ヨーロッパ・アフリカの各地域はこれにより密接に結びつけられた。



By SimonP at en.wikipedia - Modification made by SimonP.  
Transferred from en.wikipedia, CC BY-SA 3.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=2547506>

三角貿易の図式

# 第11回：バロック美術・ロココ美術（1）

- **バロック美術**がイタリアから始まり、ヨーロッパ諸国に広がりました。**カトリック改革**を背景に美術が発展していききましたが、オランダでは市民の影響力が強まり**世俗的な絵画**が多く描かれました。
- 18世紀フランスでは、バロックとは対照的な**軽妙洒脱な様式**である**ロココ美術**が生み出され、華やかな文化が営まれました。



ベラスケス 《教皇インノケンティウス10世》

# 第11回：バロック美術・ロココ美術(2)



カラッチ 《豆を食べる男》



スルバラン 《壺のある静物》

# 第11回：バロック美術・ロココ美術(3)



ルーベンス 《キリスト昇架》



フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》

# 第11回：バロック美術・ロココ美術（4）



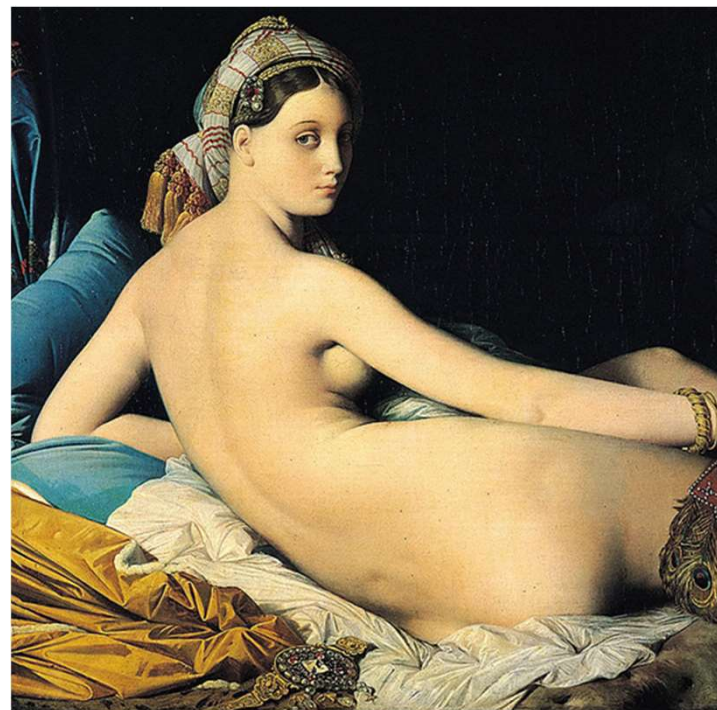
レンブラント 《夜警》



ロラン 《海港（メディチ邸）》

## 第12回:新古典主義美術

- 19世紀に**フランス革命**が起こりました。身分格差と財政危機を原因とするこの市民革命により、封建的特権が廃止され、また共和制が成立しました。その後**ナポレオン**の台頭により帝政が開始されましたが、周辺諸国からの反発に遭い彼は没落していきました。
- 帝政以前の時代には**新古典主義**が流行し、**思弁的で線的**な絵画が流行しました。



アングル 《グランド・オダリスク》